

令和5年度障害福祉分野の ICT導入モデル事業

<法人名> 株式会社テアテル

<事業所名> てあてるの芽大阪港



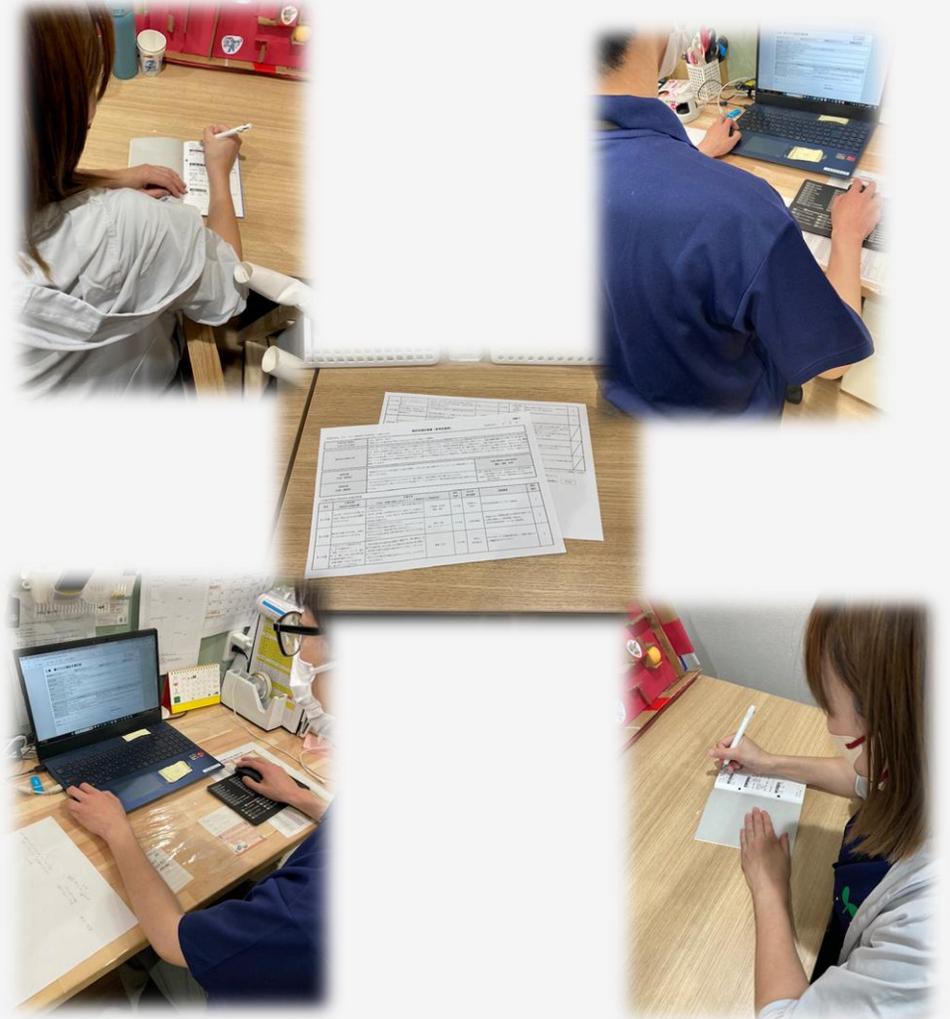
事業所概要

サービス種別	児童発達支援・放課後等デイサービス (多機能型)
所在地	大阪市港区築港3丁目5-5-101
職員数	正社員 6名 (理学療法士、保育士2名、社会福祉士、精神保健福祉士) 非常勤 1名 (保育士)
事業所の特徴	駅徒歩経験豊富な保育士と児童支援員を中心に、約160平方メートルの広いメイン指導室にて明るくのびのび、専門的療育を行っています。

ICT導入の背景・目的

★導入前の状況

- 1 支援記録およびその他連絡事項について、支援員が各自メモを取り現場を離れてパソコンに入力し直すなどしていたため、現場を離れなければならない時間および頻度（回数）がかなりあった。
- 2 メモを見て再度入力しなければならないため、内容にも誤差を感じられることがあった。
- 3 保護者への連絡ノートに支援の様子などの画像も添付していたため、サービス提供時間終了後に、事務処理をまとめて行わなければならない、複数名の支援員で行っても1時間以上かかることが多かった。
- 4 サービス提供時間終了後から営業時間終了までの間に、その日の振り返りを全て行うには時間が足りず、翌日に持ち越すことが多かった。
- 5 情報の共有をリアルタイムで行うことが難しくまた、情報の確認も現場を離れ事務スペースに戻っておこなう必要があった。

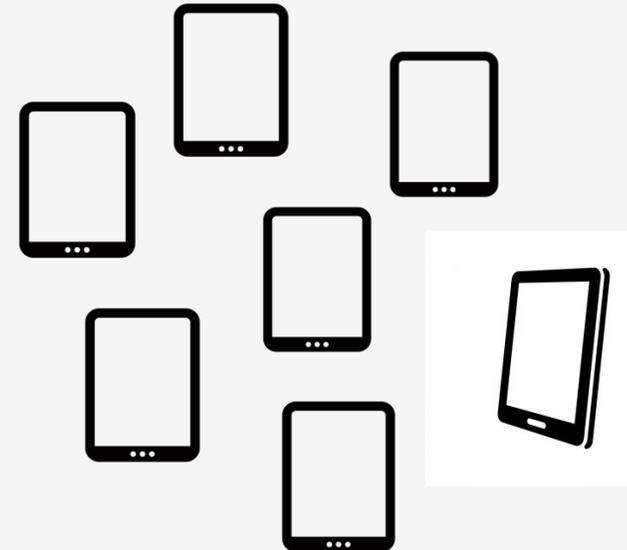


ICT導入の背景・目的

★導入の目的

・以下の目的のためICTの導入が必要であるとかがえた。

- 1 支援員が一人1台端末（タブレット）を携帯することにより、記録およびその他連絡事項について、パソコンに入力し直すなどの作業のため現場を離れなければならない時間および頻度（回数）を減らしたい。（リアルタイムでの記録作成）
- 2 メモを見て再度入力することによる内容の誤差を減らしたい。
- 3 音声テキスト化するシステムを利用することにより、キーボード等で入力する作業をできるだけ簡素化したい。
- 4 サービス提供時間終了後の事務処理の時間を短縮し、その日の振り返りの時間を充実させたい。
- 5 安全性を高めるため、自社のサーバーで記録を保存し、活用したい



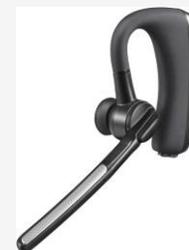
導入機器

◆導入するICTの検討

- 1 支援員携帯用タブレット 9台・・・iPad 10.2インチ
- 2 記録・通信用インカム（音声一言語変換システム付） 3台・・・東芝フィールドボイスインカム
- 3 情報保管用サーバー 1台・・・Buffalo リンクステーション 2TB
- 4 業務管理ソフト ……HUG 一式

◆導入したICT

- 1 支援員携帯用タブレット 9台・・・iPad 10.2インチ×2台、iPad mini × 7台
- 2 記録・通信用インカム（音声一言語変換システム付） 3台・・・サンワサプライ インカムシステム
- 3 情報保管用サーバー 1台・・・Buffalo リンクステーション 2TB
- 4 業務管理ソフト ……HUG 一式



ICT導入の実施体制の整備

■ 職場内の研修

- 説明:
- 1 デジタル化移行の説明・・・ICT導入に伴い、下記の業務をデジタルに移行することを説明
 - ① 支援記録、保護者との連絡帳、実績記録表へのサインをタブレットを利用し記録する
 - ② 可能な限り音声で入力しテキストで保存する。
 - ③ 業務支援ソフトHUGシステムを全てのタブレットに導入し、リアルタイムで情報を共有できるようにする。
 - ④ 送迎時および外出時にも各スタッフがタブレットを携帯。Wifi機器と接続し、利用する。

- 2 機器および業務管理ソフトの使用方法の説明



■ 保護者等への説明

- 説明:
- 1 業務管理ソフトの使用方法の説明・・・保護者専用ページ（マイページ）の設定依頼
 - 2 連絡帳、次月利用予定表、実績記録表の確認等をHUGの電子認証システムで行うことおよび操作方法の説明

どの場面でも事務処理が可能



タブレット



PC+サーバー



効果検証

		導入前（時間）	導入後（時間）	削減率（%）
記録業務				
1	・ 業務日報	・ 支援終了後記録作成 約30分	・ 支援と同時に作成	約95%
2	・ 支援記録（通常）	・ 支援終了後記録作成 約30分	・ 支援と同時に作成	約95%
3	・ 支援記録（外出時）	・ 外出後作成 約1時間	・ 支援と同時に現地で作成	ほぼ100%
請求関連業務				削減時間
1	・ おやつ等請求確認	・ 出席記録により確認	・ 支援ソフトによる自動計算	約1時間削減
2	・ 送迎の有無確認	・ 出席記録により確認	・ 支援ソフトによる自動計算	約1時間削減
3	・ 入退出確認	・ 出席記録により確認	・ 支援ソフトによる自動計算	約1時間削減
			合計	約3時間削減

★その他導入により得られたメリット

- ・勤務スタッフ全員がタブレットを携帯し支援にあたることにより、利用者の支援計画、過去の支援記録その他の情報をその場で確認し支援に生かすことができる。
- ・記録された内容を即時に共有できる。
- ・外出時、送迎時など屋外でもほとんどの事務処理が可能。
- ・様々なアプリを利用した視覚支援および聴覚支援が可能。